

世界遺産通信

IN 本宮小学校

vol.6

令和5年12月

和歌山県世界遺産センター発行

～世界遺産学習全国サミット inたなべ～

1ヶ月切った世界遺産サミット

11月17日(金)に本宮小学校で行われた、12月8日(金)～12月10日(日)に開催される世界遺産学習全国サミットに向けてのリハーサルを参観しました。

実践発表の練習は、体育館の舞台で紀南文化会館の舞台を想定し、パワーポイントとマイクを使って行われました。5.6年生の児童が発表し、4年生が観客役になっていました。次に、現地での語り部の練習でした。2教室に分かれ、グループや個人で練習をしていました。しっかり覚えようとする子、間を取ることを課題にして繰り返し台本を読む子など様々でした。児童の皆さんは、「間と声の大きさに気を付けて練習しています。」「本番はどれだけ練習しても緊張する。」という声がありました。本番は自分を信じて楽しみながら発表してほしいと思いました。



講師梅崎さんのお話

熊野本宮語り部の会梅崎さんは、何度も本宮小学校に足を運び語り部の指導をされていました。4・5・6年生27名で練習を行っていて、上級生が下級生に優しく教えてあげている姿が印象に残っているそうです。先生、児童の皆さんと協力して本番を成功させたいという想いが伝わってきました。

参観して感じたこと

5・6年生は、ゆっくりしゃべる、はきはきしゃべる、句読点で区切るなど、落ち着いた発表ができていて聞きやすかったですし、4年生は上級生の発表をしっかり聞いてとても素晴らしかったです。本番に向けての練習に何度か見学に行っていますが確実に力を付けているので、自信を持って取り組んでほしいと思います。児童の頑張りを地域を挙げて応援しましょう。

大日越えリハーサル

本宮小学校4・5・6年生児童は、11月30日(木)に世界遺産学習全国サミット本番に向けて現地案内のリハーサルを三里小学校5・6年生に行いました。3つのグループに分かれ、険しい坂道が続く中、声かけをしながら、参加者の皆さんとコミュニケーションをとる姿が印象的でした。鼻欠地蔵の前では、言い伝えを劇にして説明していて、見応えがあり大日越えの魅力を知ることができた1日となりました。当日が楽しみです。



大日越えリハーサルの様子（鼻欠地蔵前）